

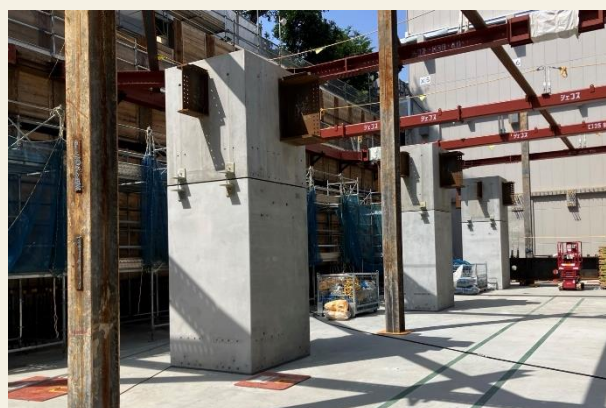
07 本庁舎等整備工事News

令和7年7月号 Vol.17 作成/庁舎整備担当部庁舎建設担当課 〒154-8504 世田谷区世田谷4-22-33
☎03-5432-2986 FAX03-5432-3006 協力/大成建設株式会社東京支店

地下躯体の工事を進めています



北側(国土館大学側)より、工事敷地全体の状況を撮影

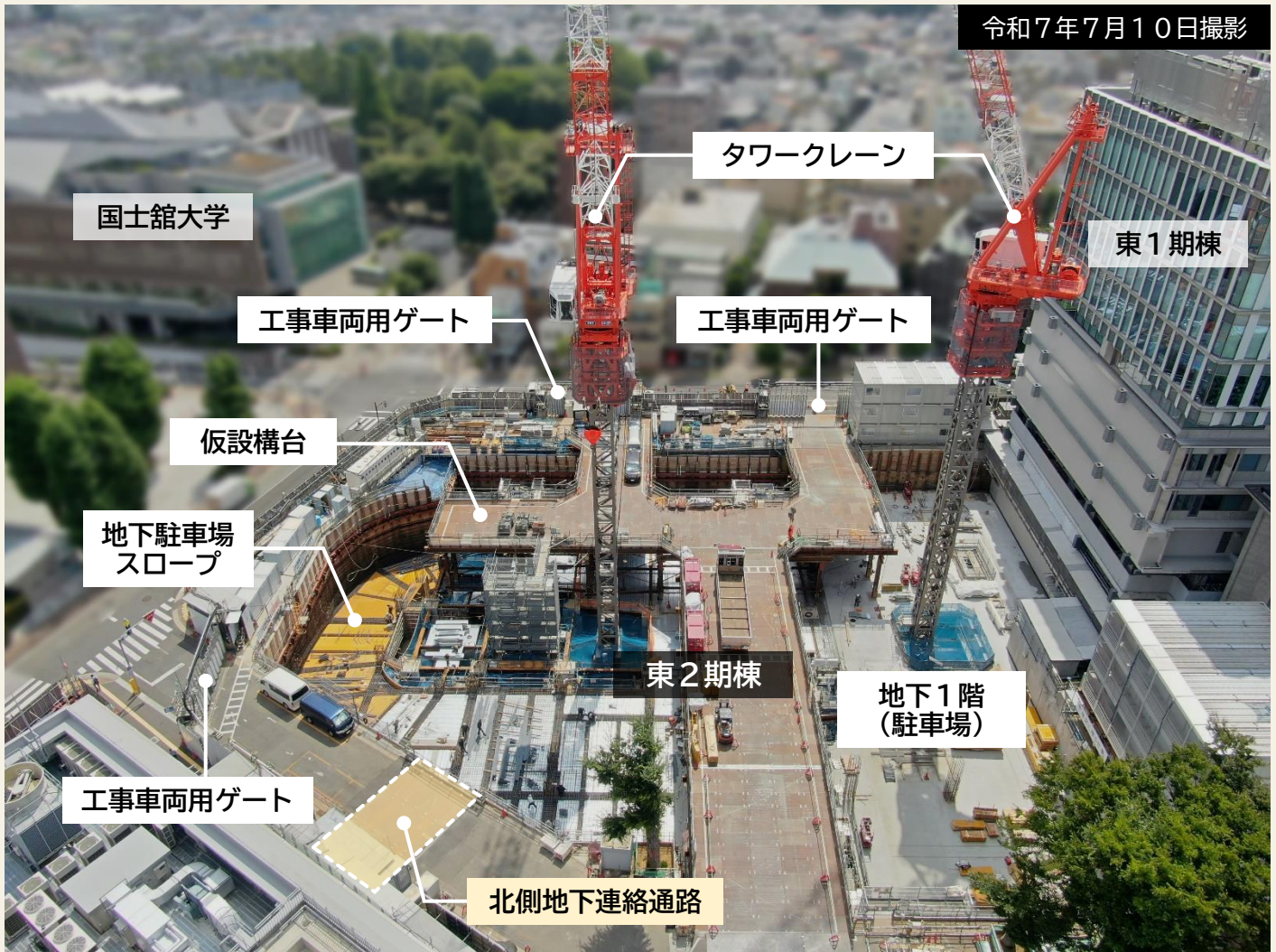


西棟のプレキャストコンクリートによる柱

地下工事の省力化のため、躯体の一部にプレキャストコンクリート(PCa)を採用しています

現在、2期工事は東棟・西棟ともに、地下躯体の工事をしています。通常、躯体工事は鉄筋・型枠・コンクリート打設の作業をすべて現場で行いますが、2期工事以降、工事の省力化を図るため、地下の柱と免震基礎（免震装置の土台となる柱頭の躯体）をPCa化し、あらかじめ工場で製作した部材を現場で組み立てる方法を採用しています。

※一部の柱と免震基礎は、従来どおりの方法(現場打ち)で施工しています。



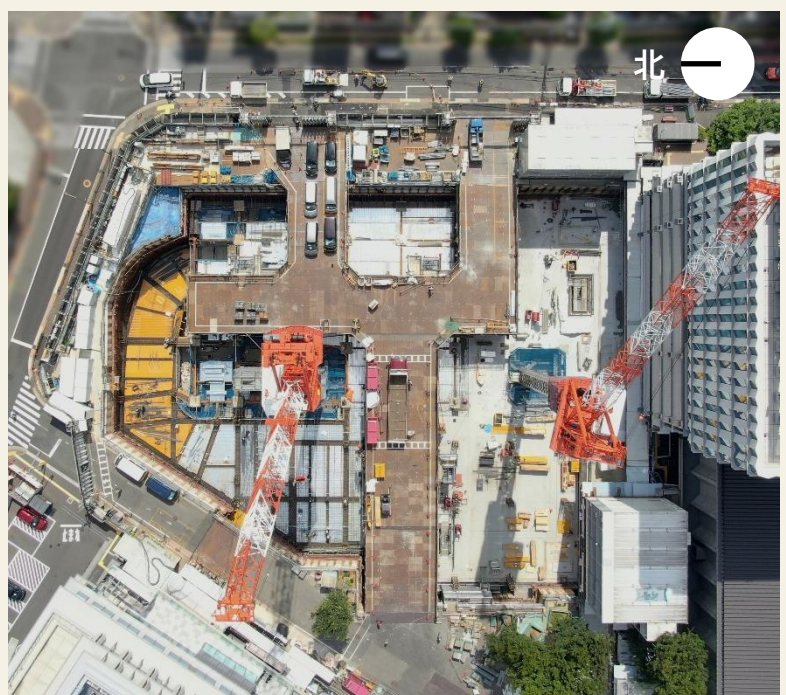
西側上空（新庁舎西棟側）より撮影

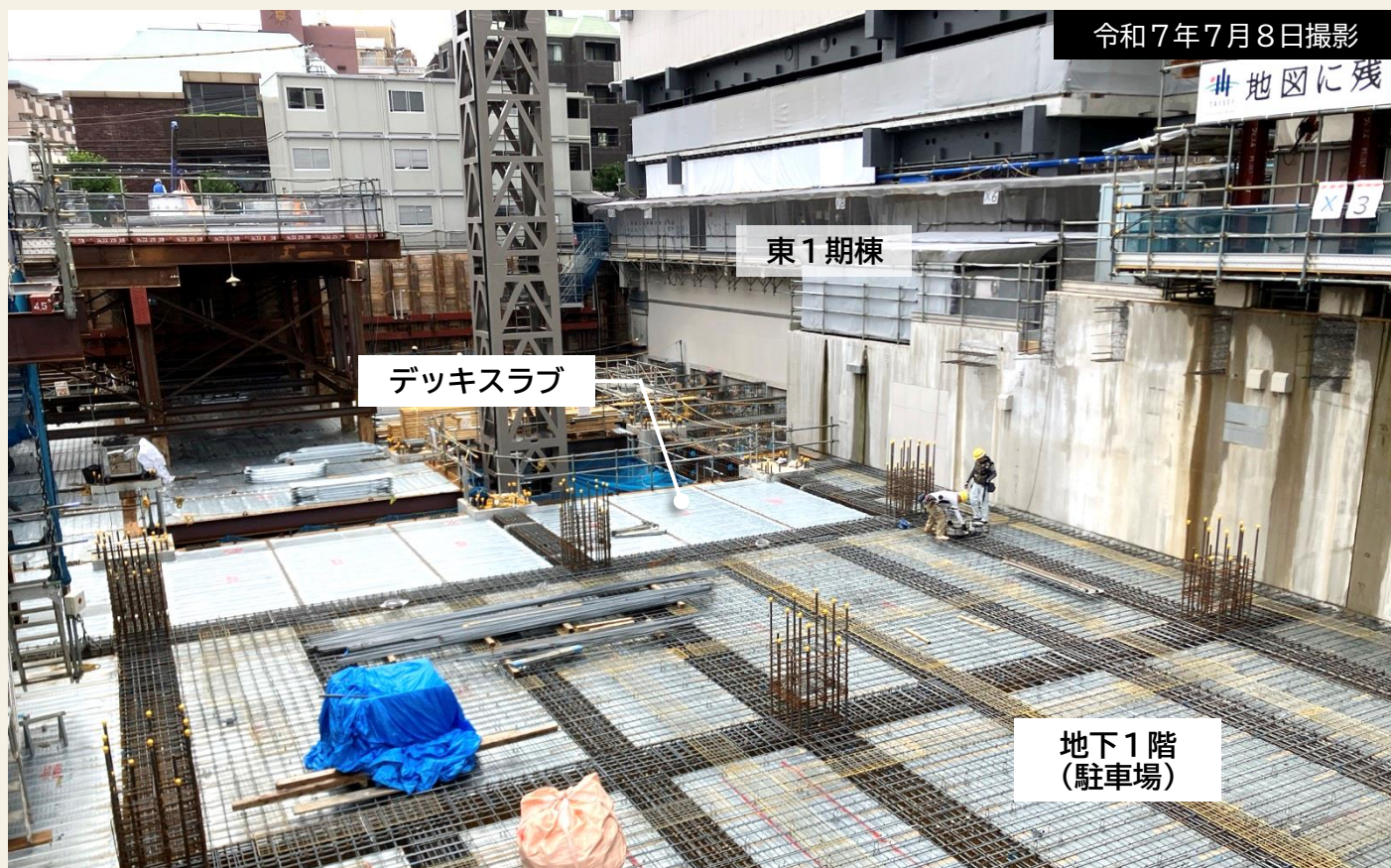
現在行っている主な工事

- 地下2階 躯体工事（壁）
- 地下1階 躯体工事（スロープ・床）

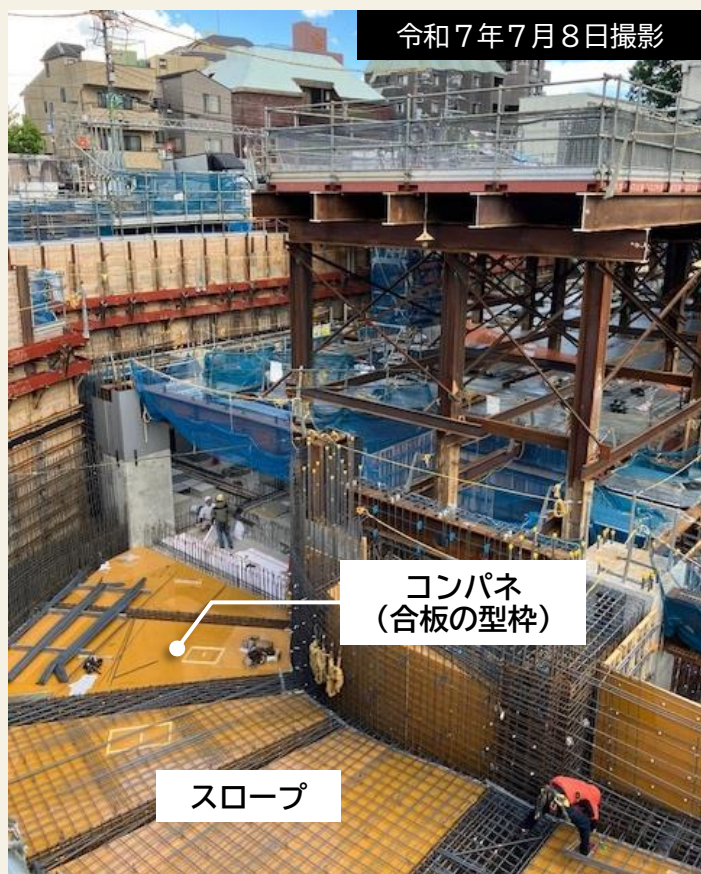
旧第1庁舎跡地で建設中の東2期棟では、現在、駐車場となる地下2階と地下1階の躯体工事を進めています。地下2階は、PCa柱と鉄骨梁の設置が完了しました。

地下1階では、7月下旬よりPCa柱を組立て、8月上旬に免震装置を取り付けます。

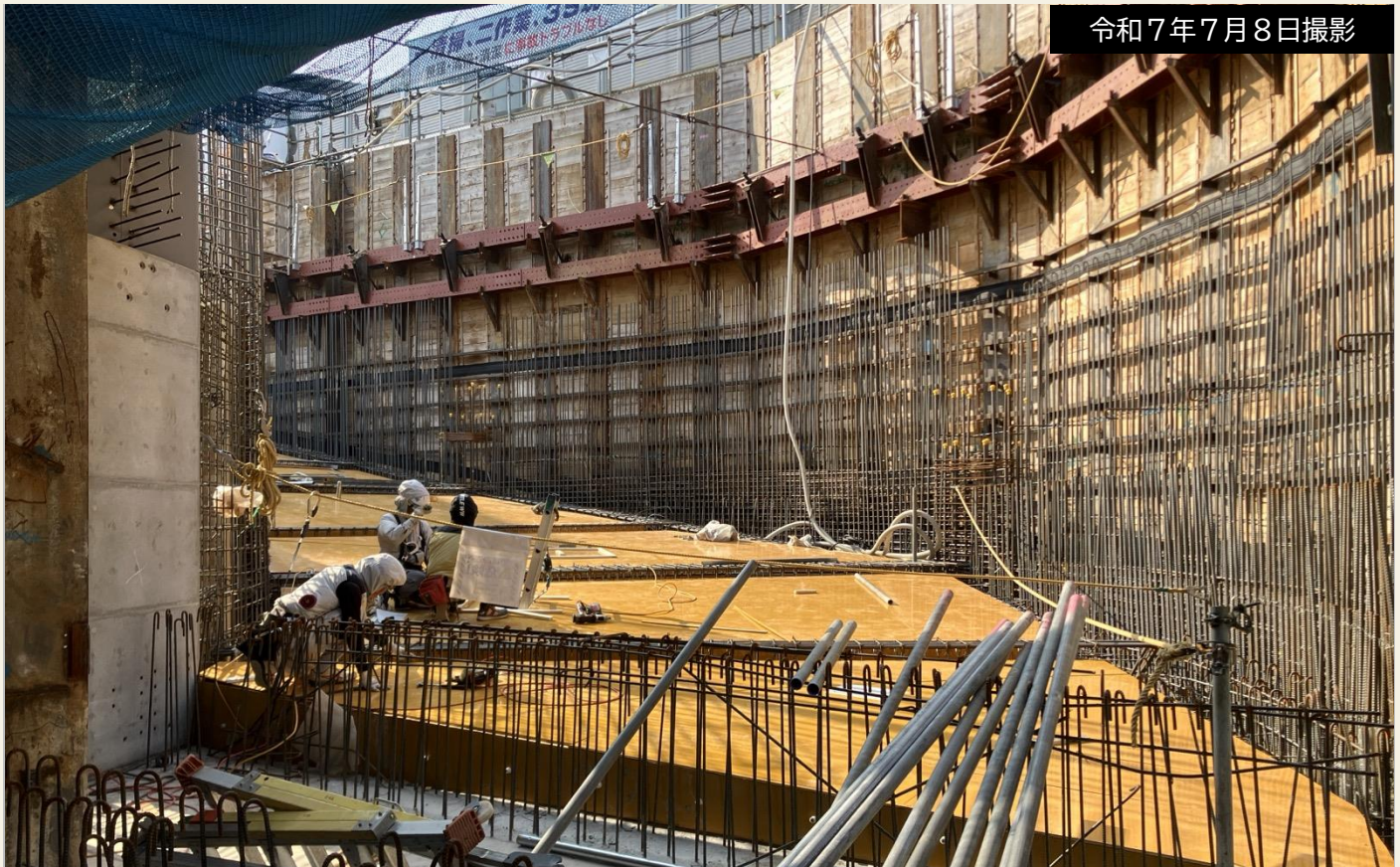




東1期棟側の様子。デッキスラブ(銀色の部材)の上に鉄筋を組み立てた後、コンクリートを打設していきます。



スロープ廻りの様子。傾斜のあるスロープ部分は、大工職人がコンパネ(オレンジ色の部材)で型枠を組み立てています。



令和7年7月8日撮影

地下2階に下るスロープの様子。傾斜させた型枠に沿って鉄筋を組んでいきます。



令和7年7月8日撮影

地下2階
(駐車場)

地下2階の様子。PCa柱や鉄骨梁の設置が完了し、現在、内壁の工事を行っています。

東2期棟

区役所周辺からの風景



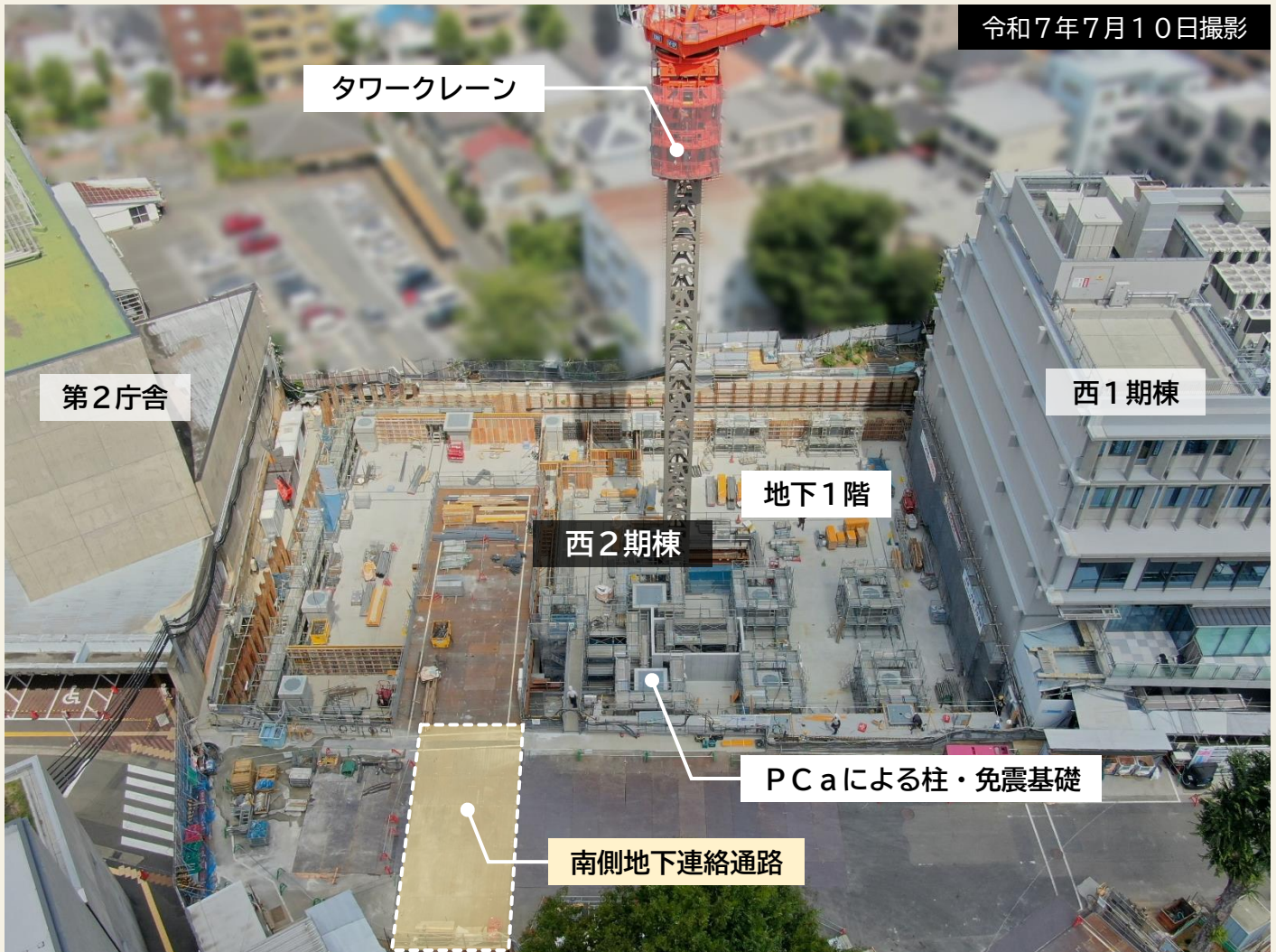
令和7年7月10日撮影

北東側(国士舘大学前の交差点)の歩道から撮影



令和7年7月10日撮影

北西側(現在封鎖中の中央区道北側)の歩道から撮影



東側上空（新庁舎東棟側）より撮影

現在行っている主な工事

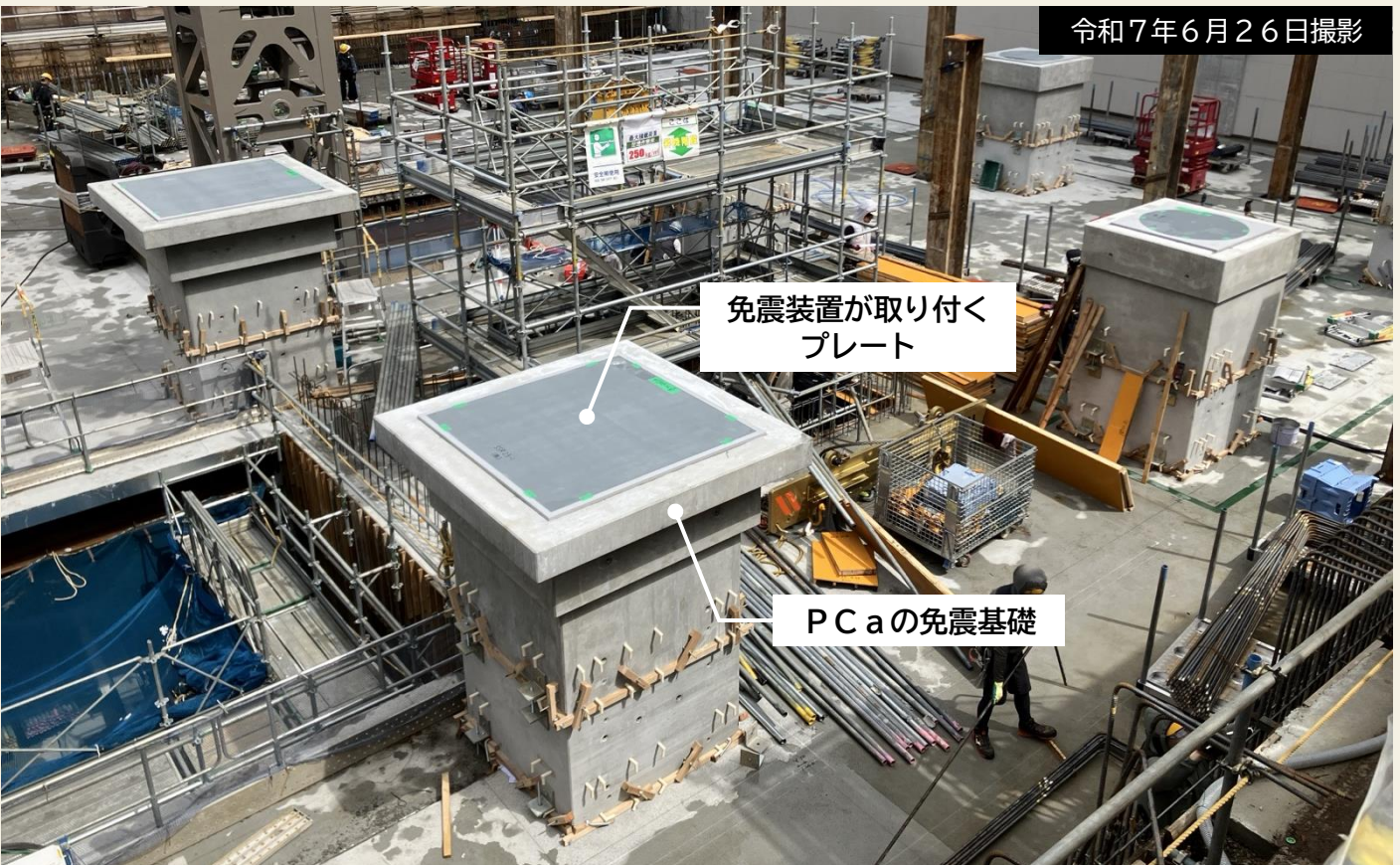
- 地下2階 躯体工事（壁）
- 地下1階 躯体工事（免震基礎）
- 地下1階 免震装置取付

旧第3庁舎跡地に建設中の西2期棟では、地下1階のP C a柱及び免震基礎の組立てまで完了しました。これから7月末にかけて、柱頭に免震装置を取り付け、その後、いよいよ地上階の鉄骨工事が始まります。鉄骨工事が始まると、工事仮囲いの外からでも、柱と梁による構造体が組みあがる様子が少しずつ見えてきます。





PCaによる柱の組み立ての様子。位置・高さともに、ミリ単位で管理しながら設置しました。



組み立てが完了したPCaの柱と免震基礎の様子。今後、柱頭の免震基礎に免震装置を取り付けていきます。



西1期棟側から見た敷地の様子。柱の廻りに足場を組み、免震装置を取り付ける準備をしています。



地下2階の様子。躯体工事が完了し、屋内の空間が出来上がりました。現在、内壁の工事を行っています。

西2期棟

区役所周辺からの風景



令和7年7月10日撮影



西側(第二庁舎地下駐車場)から撮影



令和7年7月10日撮影



南側(第二庁舎正面)から撮影



北側地下連絡通路の様子。道路下の電気・ガス配管を、吊り防護で保護しながら躯体工事を進めています。



南側地下連絡通路の様子。北側に先行して躯体工事が完了し、地下通路の外形が出来上がりました。

お知らせ

令和7年7月末(予定) から 世田谷区役所通りの歩道(工事敷地側)の通行制限を解除します

2期工事の着手に伴い、昨年5月より通行制限を実施してきた世田谷区役所通りの歩道について、令和7年7月末(予定)に通行制限を解除し、通り抜けが可能となります。通行制限中、迂回にご協力いただきありがとうございました。

なお、歩道に面する2箇所の工事車両用ゲートより、工事車両が出入りする場合がありますが、各ゲート前に誘導員を常時配置し、歩行者の安全を確保ながら誘導しますので、ご理解・ご協力をお願いします。



7月14日時点での様子。通行制限解除後は、東1期棟まで通り抜けが可能になります。

東棟10階 展望ロビーからタワークレーンを見ることができます

東棟10階にある展望ロビー(入場無料/平日のみ 8:30~17:15)では、工事ヤード内に設置されているタワークレーンを間近で見ることができます。普段、遠く見上げている運転席(写真の白い部分)が目の前にあり、オペレーターが毎日、どれだけ高いところで作業を行っているかを実感することができます。



展望ロビーの様子。タワークレーンが間近にあり、オペレーターと同じ目線で現場を見ることができます。